

令和3年度 結果の分析及び今後の改善策

( 中間・最終 )

川尻中学校区 校番 19 学校名 呉市立川尻中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
<p>確かな学力</p>	<p>④ 基礎学力の定着を図る</p>	<p>○家庭学習の習慣化</p> <p>○主体的な学びへの授業改善</p>	<p>○定期テスト(1学期期末)の課題(宿題)提出状況は、3年生94.7%、2年生90.9%、1年生94.4%である。3年生の状況は2年次よりも向上している。 ●1・2年生は中間よりも期末の方が提出率が下がっている。どの学年とも特定生徒の提出が低迷している。</p> <p>○感染症対策を考慮しながら工夫した授業改善が行われた。 ●感染症対策徹底のため、ペアやグループでの活動ができなかった。 ○期末テスト5教科で30点未満の生徒は全体で12.2%と目標値を達成することができた。特に2・3年生は中間よりも期末の方が数値が向上している。</p>	<p>・生徒の実態に応じて、担任と保護者が連携をとる。特に1・2年生を中心に週1回の川中タイムを利用し、遅れてでもやりきらせるよう個別指導していく。</p> <p>・引き続き意見交流ができるような授業づくりを工夫して行っていく。</p> <p>・苦手な教科を絞りながら、生徒ごとに川中タイムで個別に対応し、指導していく。また、テスト前の放課後補充学習を充実させる。</p>
<p>豊かな心・健やかな体</p>	<p>④ 自己指導能力を育成する</p> <p>④ 健康的な生活習慣の確立と体力向上を図る</p>	<p>○生活規律・学習規律の定着</p> <p>○夢や目標への挑戦と自尊感情の向上</p> <p>○食育の推進と体力向上</p>	<p>○授業の初めに4動作の挨拶を行っている割合は、93.4%と目標値90%を上回っている。</p> <p>○主体的に掃除をする生徒の割合は97.8%で、目標値90%を上回っている。</p> <p>●夢や目標を持っている生徒の割合が全体で84%と目標値を若干下回った。</p> <p>●校内ボランティアを下半期で1回実施。年間30回の目標は難しいと考える。</p> <p>●新体カテストの結果県平均以上の種目60%に対し54%と目標値を下回った。昨年度の記録(66%)と比較しても記録が低下している。</p> <p>○12時50分までの配膳が達成できないのは、3年生が主な原因である。3年生は人数が多いということもあるが、入学時から配膳が遅れがちで意識の低さが改善されていない。</p>	<p>・委員会中心に様々な取組を行い、主体的に取り組んでいる。継続していきたい。</p> <p>・前向きな声かけや肯定的評価をしていくことで生徒が自ら考えて意欲的に掃除に向き合い自主性が生まれるよう指導していく。</p> <p>・今年度も職場体験学習が中止になった。様々な教材を活用して夢を持てるよう促していきたい。</p> <p>・伝統であるボランティアの機会が減少する中でも、校内での活動を中心に継続させていきたい。</p> <p>・コロナ禍の中、運動をする状況が極端に減っている。涼しい時期に各部でトレーニングを取り入れ強化していきたい。一方、体育が楽しい、運動が楽しいと生涯運動に親しめる態度もあわせて醸成していきたい。</p> <p>・配膳時の声かけ・教員がついて指導する・保健体育委員も手伝う等の対策をとっていきたい。</p>
<p>信頼される学校</p>	<p>○教職員が意欲と能力を発揮できる学校</p> <p>○不祥事防止</p> <p>○生徒と向き合う時間の確保</p> <p>○長時間業務の削減</p>	<p>○管理職及び主任・主事による服務規律研修を定期的に行ってきた。また、新聞記者発表資料を即時周知し、タイミングを失うことなく注意喚起を行ってきた。</p> <p>○生徒と向き合う時間が確保されたと感じる教員は90%であった。昨年度、中間期の達成値は100%であったことから、生徒と向き合う時間が確保されたと感じる教員の割合が若干低下している。</p> <p>○4月～8月の期間、時間外勤務平均時間は22時間52分で昨年度中間期29時間より減少している。概ね職場内で長時間業務の削減への意識化、行動化が図られている。 ●時間外勤務が月45時間以内の教員は、15名中14名で概ね目標値の90%は達成しているが、若干45時間を超える月があった。</p>	<p>・管理職だけでなく主任・主事による研修を継続し、不祥事未然防止に向け、職場内における互いの声掛けや意識の醸成を行っていく。</p> <p>・職朝での日報配布、会議等の事前確認により、会議時間短縮を行っている。また、課題に対して素早く組織的に取り組めるよう情報共有による指導・支援を行い、生徒と向き合える時間の確保を行っていく。</p> <p>・時間外勤務時間の平均時間は、目標の45時間を大きく下回っているが、特定の教員の勤務時間が二月、45時間を超えている。定時退校日に全員が退校しやすくなるよう、先を見通したスケジュール管理や、分掌・学年が協力して業務を行えるよう促し、時間外勤務時間を減少させていく。</p>	